

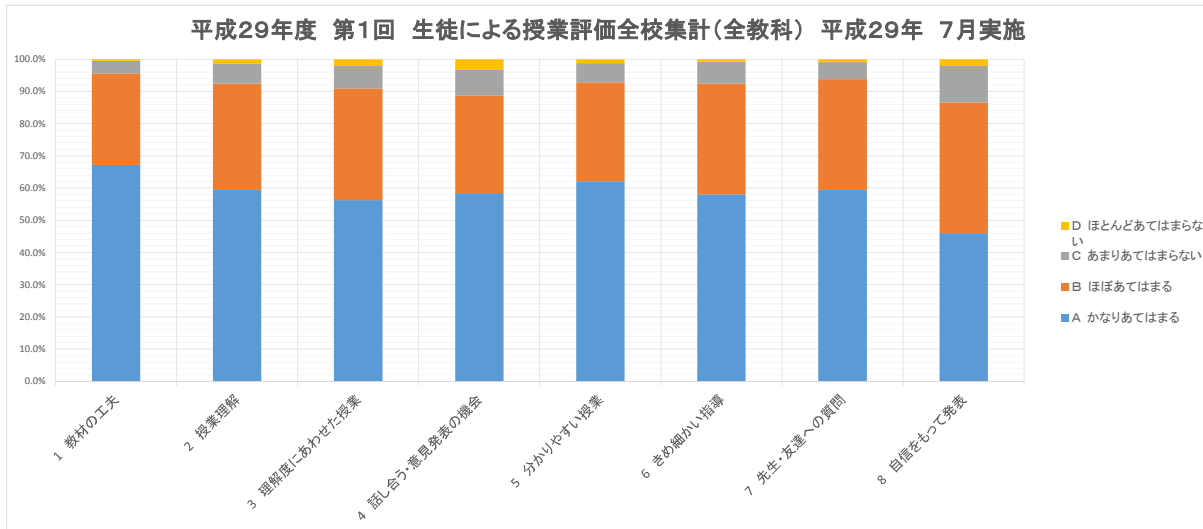
平成29年度 第1回「生徒による授業評価」の結果と分析について

生徒による授業評価は、妻沼西中学校の生徒の確かな学力を育成するため、教員の指導力の向上や授業改善を図るとともに、生徒自らが学習への取組を見つめ直す機会とすることを目的としています。全教科、全生徒に年2回無記名のアンケート方式で実施します。1回目は、夏季休業前(7月)に実施し、当該授業の課題等を把握します。2回目は冬季休業前(12月)に実施し、課題の改善状況について把握します。7月実施の第1回授業評価の集計・分析結果は以下のとおりです。

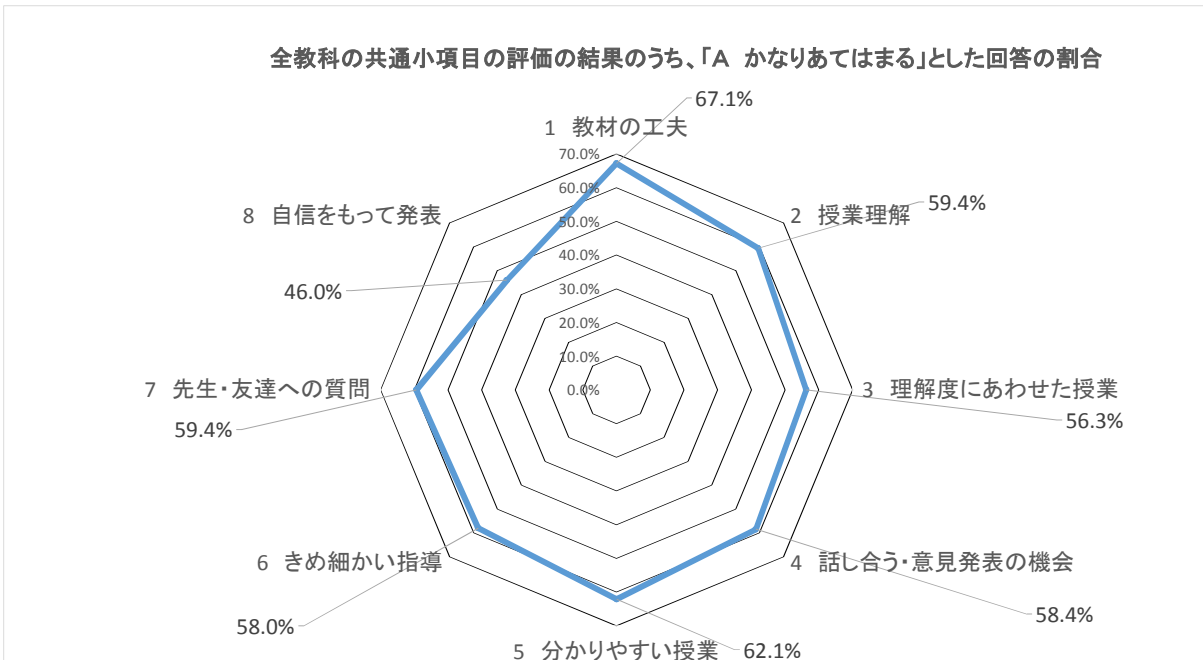
平成29年度 第1回 生徒による授業評価全校集計(全教科)

平成29年 7月実施

	1 教材の工夫	2 授業理解	3 理解度にあわせた授業	4 話し合う・意見発表の機会	5 分かりやすい授業	6 きめ細かい指導	7 先生・友達への質問	8 自信をもって発表
A かなりあてはまる	67.1%	59.4%	56.3%	58.4%	62.1%	58.0%	59.4%	46.0%
B ほぼあてはまる	28.4%	33.0%	34.7%	30.3%	30.8%	34.5%	34.4%	40.5%
C あまりあてはまらない	3.8%	6.3%	7.0%	8.0%	6.0%	6.7%	5.2%	11.3%
D ほとんどあてはまらない	0.6%	1.3%	2.1%	3.3%	1.2%	0.9%	1.0%	2.1%



	1 教材の工夫	2 授業理解	3 理解度にあわせた授業	4 話し合う・意見発表の機会	5 分かりやすい授業	6 きめ細かい指導	7 先生・友達への質問	8 自信をもって発表
A かなりあてはまる	67.1%	59.4%	56.3%	58.4%	62.1%	58.0%	59.4%	46.0%



授業で学習した内容をだいたい理解できる生徒の割合は、「Aかなりあてはまる、Bほぼあてはまる」を合わせると、92.4%と高かった。また、説明の仕方がていねいで、分かりやすい授業であると答えた割合も、92.9%であった。教材が工夫されていて取り組みやすい授業については、95.5%であった。一方、授業で自信をもって話し合い、発表している生徒の割合は、86.5%(A かなりあてはまる 46.0%)、生徒同士で話し合う機会や意見などを発表する機会があるという質問では、88.7%(A かなりあてはまる 58.4%)と8つの質問項目中、90%を下回る数値であった。今後、校内研修等で新学習指導要領が目指す主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を図り、一人ひとりの生徒を授業中に徹底してかまひ、生徒一人ひとりの姿容(伸び)を見取れるよう学校全体で取り組んでまいります。